

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2025 年 5 月)

研究発表会のお知らせ

2025 年度、第 1 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : **2025 年 6 月 2 日(月) 午前 11 時 00 分～**

参加方法 : 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。

Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。

ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 : **カルリノ サルバトーレ 先生 (外国語学部 日本語学科)**

題 目 : **南琉球宮古語久松方言の格助詞についての初期報告
ー久貝を中心にー**

概 要 : 本発表は、久松方言の格助詞についての初期報告である。久松方言は南琉球宮古語に属しており、久松で話されている。久松は宮古島平良市の地区であり、松原と久貝という 2 つの集落からなるが、本発表では久貝に着目する。本発表のデータは現地調査で質問調査によって収集された。調査協力者は久貝方言の 70 年代の男性 2 名である。本発表では主格助詞=ga と=nu の交替を中心に、久松方言の格標示について報告する。

②発表者 : **フランソワ ルーセル 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目 : **日本におけるフランス学校の歴史研究 :
消えた神戸フランス学校 (1982～1984 年) の事例から**

概 要 : 1982 年に神戸で設立された西日本初のフルタイム仏学校は、熱心な保護者の尽力と大阪・神戸総領事館の協力により実現し、最大 19 名の児童が在籍したが、教員派遣の遅れや国家補助金の不履行、生徒数の急減など複数の要因が重なり、1984 年に閉校した。ナントの外交史料館に保管された仏大使館文化部の 47 件 (計 96 ページ) に及ぶ文書をもとに、その経緯と歴史的意義を再検討する。

以上